

盛岡市遺跡の学び館

平成30年度 館報



赤裳遺跡 第8次調査 調査風景

盛岡市遺跡の学び館

はじめに

盛岡市は、南部氏盛岡藩の城下町として、また近代以降は岩手県の県都として発展してきました。岩手山や姫神山などの秀峰を望み、北上川をはじめとするいくつもの清流が悠々と流れる、自然豊かな「杜と水の都」です。当館は、緑豊かな中央公園の一角に位置し、埋蔵文化財発掘調査機関としての機能と、登録博物館として埋蔵文化財の教育普及活動を行う役割を併せ持った盛岡市教育委員会所管の施設です。

平成30年度の発掘調査事業におきましては、史跡盛岡城跡の整備に伴う発掘調査のほか、公共工事や民間開発事業等に伴う発掘調査を行っており、調査の成果は、今後報告書として刊行していく予定ですが、本書は、速報としてその概要をまとめたものです。

学芸事業におきましては、企画展「繋^{つなぎ}遺跡—繋遺跡出土深鉢形土器国重要文化財指定30周年—」を開催し、昭和63年に国重要文化財に指定された7つの深鉢形土器を中心に、数多くの装飾された土器や土偶のほか、遠方との交易を示すヒスイ、アスファルト等を展示し紹介しました。また、この機会に併せて、つなぎ温泉観光協会とタイアップして「縄文土器を学ぶスタンプラリー」を実施し、市民や観光客の関心が高まるよう取り組みました。

テーマ展「発掘調査から展示まで」では、発掘調査の方法や出土資料の整理、復元など、普段市民が目にすることの少ない業務内容の紹介や、講演会、史跡めぐり、体験学習などを実施しました。

今後におきましても、市民の皆様の一層のニーズをふまえながら、より一層の内容の充実を図ってまいりますので、御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年3月

盛岡市遺跡の学び館

館長 福田 淳

例言

- 1 本書は、盛岡市遺跡の学び館の平成30年度館報である。
- 2 本書の編集執筆は、当館職員が協議して行った。
- 3 Ⅲ－3の埋蔵文化財発掘調査の記載内容は、平成30年度に当館が行った発掘調査の概略をまとめたものである。その多くは現在資料整理中であり、正報告書は別途刊行予定である。
- 4 Ⅲ－4の赤袈遺跡第8次調査の遺跡平面位置は、平面直角座標X系（日本測地系座標）を座標変換した調査座標で表示した。

赤袈遺跡 調査座標原点 $R X \pm 0 \leftarrow X - 31,000.000 \text{ m}$

$R Y \pm 0 \leftarrow Y + 23,000.000 \text{ m}$

- 5 本書に使用した地図は、国土地理院発行2万5千分の1地形図「矢幅」「盛岡」「小岩井農場」「鷹高」「外山」「渋民」を使用した。
- 6 発掘調査に伴う記録類や出土遺物等は、当館で保管している。

目次

はじめに

例言・目次	1
I 施設概要	
1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業	2
2 事業経過	2
3 建設事業費等	2
4 施設概要	2
II 職員体制	3
III 事業概要	
1 管理運営	4
2 学芸事業	5
3 埋蔵文化財発掘調査	13
4 赤袈遺跡第6次, 第7次, 第8次調査(附)第5次調査の土坑	23

報告書抄録

I 施設概要

1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業

平成12年12月24日未明の「文化財調査室」の火災事故以後、防災に強い施設整備に向けて、平成13年5月より(仮称)盛岡市文化財センター建設構想に係る庁内外との協議(企画調整課・財政課・管財課・契約検査課・公園緑地課・建築営繕課・地域整備公団(当時))を開始し、総合計画との関連および予算措置・建設用地等についての協議をおこなった。各関係機関との協議を経て、同年7月に文化庁から埋蔵文化財センター建設事業(国庫補助)について、平成14年度の事業実施の方向性を打診。建設用地は市先人記念館・子ども科学館・県立美術館の立地する盛岡市中央公園地内を候補地とし、諸機関との調整の上、同年8月に事業開始となった。

2 事業経過

平成13年度	「(仮称)盛岡市文化財センター建築基本設計」策定, 展示構想策定業務, 地質調査
平成14年度	建築実施設計, 展示施設計画, 建築工事・土木工事
平成15年度	建築工事・土木工事 展示施設製作業務委託, 盛岡市遺跡の学び館設置条例制定
平成16年度	盛岡市遺跡の学び館施行規則制定 施設の名称を「盛岡市遺跡の学び館」とする
平成16年6月1日	盛岡市遺跡の学び館開館
平成31年3月末	開館以来の施設総利用者数 175,988人

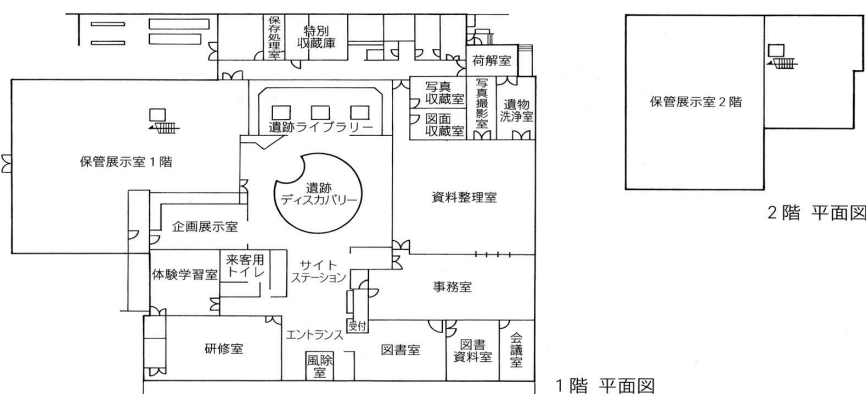
3 建設事業費等

・建設事業費 677,123千円(国庫補助210,000千円・県補助105,000千円)

総事業費	677,755 千円	建築設計	株式会社三衡設計舎
建築設計委託	24,985	展示施設構想策定・製作	株式会社丹青社
建築工事費	455,490	建築主体工事	株式会社阿部正工務店
土木工事費	43,543	敷地造成工事	有限会社東北農林建設
展示計画策定業務委託	8,820	電気設備工事	新興電機株式会社
展示施設製作業務委託	91,308	給排水設備工事	有限会社門坂工業
備品購入費	44,700	機械設備工事	中央水道土木株式会社
その他	6,909	地質調査業務委託	旭ボーリング株式会社
		敷地植栽工事	株式会社やまいわ
		簡易リフト設置工事	三機商事株式会社

4 施設概要

施設の名称と位置	名称	盛岡市遺跡の学び館		設置	平成16年3月31日
	住所	岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1		開館	平成16年6月1日
施設の概要	構造	鉄筋コンクリート, 一部鉄骨造平屋(一部重層)			
	敷地面積	5,788.8㎡	建築面積	2,639.9㎡	延床面積 2,748.72㎡
室名と面積	展示部門	常設展示室(450.8㎡), 企画展示室(81.4㎡), 展示器材室			
	教育普及部門	研修室(117.0㎡), 図書資料室(47.7㎡), 図書室(66.3㎡), 体験学習室(70.9㎡), 研修機材室, 学習器材室等			
	収蔵部門	保管展示室(897.3㎡・1階517.8㎡・2階379.5㎡), 特別収蔵室(46.5㎡) 写真収蔵室(27.2㎡), 図面収蔵室(27.2㎡)			
	調査整理部門	資料整理室(237.2㎡), 遺物洗浄室(37.1㎡), 写真撮影室(28.8㎡), 保存処理室(14.7㎡)			
	管理部門	会議室(30.8㎡), 事務室(157.7㎡), 荷解室(24.5㎡), 休憩室(12.7㎡)			



館内平面図及び外観・展示室写真

【収蔵資料】(平成 30 年度末現在)

資料区分	細区分	内 容	点 数
考古資料	H29 年度発掘調査分	・史跡盛岡城跡・西鹿渡遺跡・細谷地遺跡・下永林遺跡 ほか	小コンテナ 80 箱
	調査資料 今までの 資料	・完形品等 (展示資料含む) ・土器・土製品・石器・石製品・陶磁器・鏡・古銭・金属器・木製品・瓦・装身具・小判・経石等	約 5,400 点
	破片等コンテナ 収納資料	・プラスチックコンテナ収納 (土器・石器破片, 自然遺物含む) ※コンテナ 503 × 700 × 397mm, 小コンテナ 387 × 586 × 142mm	大 300 箱 小 15,927 箱
	寄贈 寄託	・個人コレクション ・古澤典夫氏ほか寄贈考古資料 ・一本松経塚・安倍館遺跡出土遺物ほか	8,521 点 2 点
標本等	模型・レプリカ	・模型・レプリカ・土壌サンプル等	—
調査記録資料	図面	・図面 (原図・第 2 原図・遺物実測図等)	約 4,400 枚
	写真	・写真 (モノクロ・カラーネガ:35mm, 6 × 7, 4 × 5) ・カラーライド (35mm, 6 × 7) ・デジタル画像 (700MB:CD・DVD)	約 130,000 コマ 約 44,000 コマ 約 440 枚

Ⅱ 職員体制

館 長 (兼) 杉本 浩
館長補佐 (兼) 多田 秀明

〔管理・学芸班〕		〔調査班〕	
(主任 1 非常勤 3)		(文化財副主幹 2 主査 4 主事 1 非常勤 2)	
主任 (兼)	川村 忠 (~ H30.4)	文化財副主幹 (兼)	室野 秀文
文化財調査員 (非常勤)	新井 順	文化財副主幹 (兼)	菊地 幸裕
学芸調査員 (非常勤)	樋下 理沙	文化財主査 (兼)	津嶋 知弘
学芸調査員 (非常勤)	千葉 貴子	文化財主査 (兼)	今野 公顕
		文化財主査 (兼)	花井 正香
		文化財主査 (兼)	佐々木 亮二
		文化財主事 (兼)	鈴木 俊輝
		文化財調査員 (非常勤)	今松 佑太
		文化財調査員 (非常勤)	上 栞 南

Ⅲ 事業概要

1 管理運営

【盛岡市遺跡ネットワーク整備委員会】

盛岡市における中核史跡や重要遺跡の保存活用と遺跡整備の基本的方向を定めることを目的として平成12年に設置。遺跡の学び館の開館を機に、当館の企画運営についての指導もいただいている。

○【日 時】平成30年5月21日(月) 13:30～15:00

【会 場】当館 研修室

【出席者】熊谷常正 委員長, 落合昭彦・菅野文夫・菅野 亨・
金野万里・佐藤由紀男・瀬川君雄 委員

【議 事】報告・平成29年度遺跡の学び館事業報告について
審議・平成30年度遺跡の学び館事業計画(案)について



遺跡ネットワーク整備委員会

【年間事業費】(平成30年度決算額)

事業名	事業費(決算額)	事業内容
管理運営事業	15,157,829円	・臨時職員賃金, 施設設備の維持管理経費等
学芸事業	3,185,668円 (うち国補助1,182,000円)	・テーマ展, 企画展, 調査資料展, 体験学習会, 普及資料の作成, 収蔵資料データシステム等
盛岡遺跡群発掘調査事業	3,639,170円 (うち国補助1,766,000円, 県補助455,000円)	・個人住宅建築に係る事前の発掘調査及び資料整理
埋蔵文化財調査事業	1,056,608円	・公共事業に伴う事前調査
埋蔵文化財確認調査事業	835,578円	・個人住宅建築及び宅地造成等, 民間開発に係る試掘確認調査
計	23,874,853円	

【入館者統計】開館以降の入館者等利用状況(平成16年6月～平成31年3月)

(単位:人)

	有料入館者							減免利用者			展示室利用者数	展示室以外の利用者数	総計
	個人			団体			計	一般	小・中	計			
	一般	小・中	小計	一般	小・中	小計							
H16	2,837	923	3,760	792	422	1,214	4,974	5,316	610	5,926	10,900	1,896	12,796
H17	2,298	1,475	3,773	582	372	954	4,727	2,064	597	2,661	7,388	2,800	10,188
H18	2,024	1,557	3,581	259	798	1,057	4,638	1,575	1,098	2,673	7,311	5,244	12,555
H19	1,932	1,710	3,642	413	851	1,264	4,906	1,660	1,102	2,762	7,668	5,290	12,958
H20	2,157	2,218	4,375	473	804	1,277	5,652	1,859	982	2,841	8,493	6,263	14,756
H21	2,144	2,158	4,302	375	525	900	5,202	1,284	568	1,852	7,054	5,450	12,504
H22	2,012	1,594	3,606	228	268	496	4,102	1,114	411	1,525	5,627	3,624	9,251
H23	1,753	1,644	3,397	709	1,874	2,583	5,980	1,007	690	1,697	7,677	5,156	12,833
H24	2,347	1,471	3,818	427	1,218	1,645	5,463	2,031	610	2,641	8,104	4,959	13,063
H25	1,942	1,640	3,582	630	340	970	4,552	1,641	521	2,162	6,714	3,877	10,591
H26	2,109	1,513	3,622	328	273	601	4,223	1,691	972	2,663	6,886	4,537	11,423
H27	2,305	1,294	3,599	409	224	633	4,232	1,645	545	2,190	6,422	3,641	10,063
H28	2,204	1,129	3,333	527	198	725	4,058	1,755	394	2,149	6,207	4,184	10,391
H29	2,187	633	2,820	863	322	1,185	4,005	1,842	682	2,524	6,529	5,103	11,632
H30	2,151	831	2,982	786	214	1,000	3,982	1,463	670	2,133	6,115	4,869	10,984
計	32,402	22,020	54,422	7,571	8,703	16,274	70,696	27,947	10,452	38,399	109,095	66,893	175,988

2 学芸事業

当館主催の学芸事業として、企画展示室においてテーマ展、企画展、平成30年度調査資料展を開催したほか、市民参加による体験学習会を年間を通じて全6回開催し、またゴールデンウィーク・夏休み・冬休み期間中には個人を対象とした体験学習会などを開催した。また発掘調査現地での説明会の実施、普及資料の発行、さらに出前講座、博物館実習をはじめ、各種実習・研修・行政視察等の受入を行った。

(1) 展示公開・普及活動

【展示会】

タイトル等	テーマ展 「発掘調査から展示まで」	会場	当館企画展示室
		来場者数	2,298名
開催期間	平成30年6月2日(土)～平成30年9月23日(日)	展示資料数	115点
展示構成	〔発掘調査から展示まで〕発掘調査から報告書作成を経て出土資料が展示されるまでのプロセスをパネル展示〔地域の歴史の紹介〕盛岡市内の遺跡から出土した資料を、教科書の内容に即して展示〔体験コーナー〕土器パズル、パネルクイズ等を通した体験コーナー		
概要	博物館資料は、どのような過程を経て展示されているのか、発掘調査の方法や土器の復元など、普段目にするのこない裏側を紹介する。後半では、自分たちの住む地域の歴史を教科書の内容に即して紹介し、地域の歴史に関心を持ってもらうきっかけとした。		
作成資料	ポスター・チラシ・展示解説シート及び展示資料一覧		
タイトル等	第16回企画展「繫遺跡―国指定重要文化財指定30周年―」	会場	当館企画展示室
		来場者数	1,431名
開催期間	平成30年10月6日(土)～平成31年1月20日(日)	展示資料数	158点
展示構成	〔重要文化財「深鉢形土器」重要文化財「深鉢形土器」7個体の展示〔繫遺跡を取り巻く縄文土器〕繫遺跡出土土器とその特徴〔遠方からの文物〕ヒスイ・コハク・アスファルト等の遠方からもたらされた遺物〔繫遺跡の至宝〕繫遺跡から出土した石器・石製品・土製品		
概要	繫遺跡から発見された深鉢形土器7個体が、わが国の縄文文化を代表する土器の一つとして、昭和63年に重要文化財に指定された。それから30年を迎えるのを機に、繫遺跡から出土した数多くの装飾された土器、ヒスイ・アスファルト等の交易を示す遺物、土偶等の土製品等を展示し、盛岡を代表する縄文遺跡「繫遺跡」を紹介した。 また、つなぎ温泉観光協会とタイアップしたスタンプラリー、出張展示、出前講座等、地元繫地区での事業も展開した。		
作成資料	展示図録・ポスター・チラシ・展示解説シート及び展示資料一覧		
タイトル等	第36回埋蔵文化財調査資料展 「盛岡を発掘する―平成30年度調査速報―」	会場	当館企画展示室
		来場者数	2,322名
開催期間	平成31年2月2日(土)～令和元年5月19日(日)	展示資料数	158点
展示遺跡	史跡盛岡城跡、下永林遺跡、細谷地遺跡、西鹿渡遺跡、大新町遺跡、赤裳遺跡、繫V遺跡		
概要	平成30年度に市内で発掘された遺跡の概要について、出土遺物・写真・解説パネル等で展示・公開。		
作成資料	展示パンフレット・ポスター・チラシ・展示資料一覧		

発掘調査から展示まで

【関連事業】
学芸講座「考古学入門Ⅱ」
6月17日(日) 13:30～15:00
当館研修室にて開催

会期：6月2日(土)～9月23日(日)

【観覧時間】9:00～17:00(入館は16:30まで)
【休館日】毎月第1日曜日(祝祭日にあたる場合は要確認)
【入場料】無料
【入場料】100円(団体30名以上160円)
小学生100円(団体20名以上80円)
※小学生未満、中学生以上高校生未満、障がい者(身体障害者)は無料

盛岡市遺跡の学び館
〒020-0946 盛岡市東山町1-1-1
TEL 019-62-6000 FAX 019-62-6001

テーマ展 発掘調査から展示まで

平成30年度 盛岡市遺跡の学び館 第16回企画展
繫遺跡
国指定重要文化財指定30周年

公開 平成30年10月6日(土)～平成31年1月20日(日)
会場 盛岡市遺跡の学び館 企画展示室

【観覧時間】9:00～17:00(入館は16:30まで)
【休館日】毎月第1日曜日(祝祭日にあたる場合は要確認)
【入場料】無料
【入場料】100円(団体30名以上160円)
小学生100円(団体20名以上80円)
※小学生未満、中学生以上高校生未満、障がい者(身体障害者)は無料

盛岡市遺跡の学び館
〒020-0946 盛岡市東山町1-1-1
TEL 019-62-6000 FAX 019-62-6001

企画展 繫遺跡

第36回埋蔵文化財調査資料展
盛岡を発掘する
平成30年度調査速報

公開 2019年
2月2日(土)～5月19日(日)
会場 盛岡市遺跡の学び館 企画展示室

【観覧時間】9:00～17:00(入館は16:30まで)
【休館日】毎月第1日曜日(祝祭日にあたる場合は要確認)
【入場料】無料
【入場料】100円(団体30名以上160円)
小学生100円(団体20名以上80円)
※小学生未満、中学生以上高校生未満、障がい者(身体障害者)は無料

盛岡市遺跡の学び館
〒020-0946 盛岡市東山町1-1-1
TEL 019-62-6000 FAX 019-62-6001

第36回埋蔵文化財調査資料展

【講演会】(企画展関連事業)

開催日	タイトル・講師	聴講者
平成30年11月11日(日) 13:30～15:30	特別講演会 「北東北縄文中期の土器」 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 参事 小保内 裕之 氏	39名

【学芸講座】

開催日	タイトル・講師	聴講者
平成30年6月17日(日) 13:30～15:00	学芸講座Ⅰ「考古学入門Ⅱ」 当館 鈴木 俊輝 文化財主事	17名
平成30年8月26日(日) 13:30～15:00	学芸講座Ⅱ「繫・川目遺跡のヒスイ」 当館 佐々木 亮二 文化財主査	19名
平成30年10月21日(日) 13:30～15:00	学芸講座Ⅲ「発掘された繫遺跡」 当館 佐々木 亮二 文化財主査	31名

【ミニ展示】

サイトステーション内にミニ展示コーナー「みっけギャラリー」を設け、3～4ヶ月ごとにテーマを決めて展示した。

平成30年度は、縄文時代晩期の皿・浅鉢形土器や石器をテーマとした展示を行った。

(2) 参加型体験活動

【体験学習会】

開催日	タイトル・講師	参加者
平成30年6月3日(日) 9:30～12:00	「縄文土器をつくろう！」(親子) 対応:当館職員・サポーターズクラブ	17名
平成30年7月8日(日) 7月22日(日) 9:30～12:00	「やきもの教室」(制作と釉薬掛け 2回) 講師:平 知道 氏 補助:当館職員・サポーターズクラブ	10名
平成30年9月2日(日) 13:30～15:30	「考古学者になってみよう! 遺跡発掘体験」 対応:当館職員・サポーターズクラブ	39名
平成30年10月14日(日) 9:00～12:00	「もりおか史跡・遺跡めぐり」 対応:当館職員・サポーターズクラブ	16名
平成30年12月2日(日) 9:30～12:00	「つるを編んでみよう!」 対応:当館職員・サポーターズクラブ	9名



縄文土器をつくろう!



考古学者になってみよう! 遺跡発掘体験



カゴ作り教室

開催日	タイトル・講師	参加者
平成31年2月17日(日) 9:30～12:00	「カゴ作り教室」 対応:当館職員・サポーターズクラブ	10名

【古代体験ひろば】

催事のタイトル	開催期間	体験学習のメニュー	参加者
ゴールデンウィーク! 古代体験ひろば	平成30年4月28日(土) ～5月6日(日) 9日間	午前の部 10:00～11:30 午後の部 13:00～14:30	勾玉作り88名, 土玉彩色65名, 古代風ストラップ73名, 火おこし368名 (のべ594名)
夏休み! 古代体験ひろば	平成30年7月28日(土) ～8月5日(日) 7日間	メニュー:勾玉作り・土玉彩色・古代風ストラップ・土偶ストラップ(有料)	勾玉作り51名, 土玉彩色49名, 古代風ストラップ75名, 土偶ストラップ31名, 火おこし264名(のべ470名)
冬休み! 古代体験ひろば	平成31年1月4日(金) ～1月11日(金) 7日間	火おこし・まなびのひろば(無料)	勾玉作り15名, 土玉彩色18名, 古代風ストラップ30名, 土偶ストラップ11名, 火おこし120名, まなびのひろば7名 (のべ201名)

【縄文ふれあい DAY】

盛岡市内の小・中学校に通学している児童・生徒5名以上の場合に入館料が減額になる毎月第2土曜日を「縄文ふれあい DAY」とし、土玉彩色・古代風ストラップ・拓本とり・古代のお守りネックレス作りなどの体験学習を実施した。



ゴールデンウィーク! 古代体験ひろば



夏休み! 古代体験ひろば(勾玉作り)



冬休み! 古代体験ひろば(土玉彩色)

(3) ボランティア活動や地域連携活動

【盛岡ゆいとぴあミュージアムネットワーク】

「盛岡ゆいとぴあミュージアムネットワーク」(略称もりとぴあねっと)は盛岡市中央公園・本宮・太田地区の博物館・美術館6施設(岩手県立美術館・原敬記念館・盛岡市子ども科学館・盛岡市先人記念館・盛岡市遺跡の学び館・志波城古代公園)で構成されたネットワークで、平成19年度に設立。施設間及び地元本宮地域協働協議会「ゆいネット盛南」等との連携により、共同テーマによるイベント・展示会の開催を行い、利用者が美術・歴史・科学・先人(人物)などに対し、多角的に興味関心を持つ機会を提供し、利用促進を図った。

催事のタイトル	開催期間(日)	内 容	参加・聴講者数
本宮ゆいっこまつり	平成30年6月10日(日)	本宮地域協働協議会「ゆいネット盛南」主催。中央公園イベント広場を会場とし、当館は火おこし体験とクイズで参加。	参加130名
夏休み☆もりとびあスタンプラリー	平成30年7月14日(土)～8月26日(日)	施設PRとして、「もりとびあねっとだより」を台紙に活用し、6施設全ての押印で記念品贈呈。	記念品交換者数34名
もりとびあねっとイベント	平成30年8月9日(木) 13:00～14:00	イオンモール盛岡南を会場として、板状土偶に彩色する土偶作りとリーフレットの配布を行った。	参加32名
志波城まつり	平成30年9月9日(日)	志波城まつり実行委員会主催。志波城古代公園を会場とし、当館は火おこし・勾玉作りで参加。	参加44名

【遺跡の学び館サポーターズクラブ】

当館の体験学習など行事運営を支援・協力するボランティア団体の「サポーターズクラブ」が発足して13年目を迎えた。本年度は新たに7名が入会し、会員数19名での活動となった。当館行事の春・夏・冬の「古代体験ひろば」(個人の体験学習)をはじめ、やきもの教室・史跡めぐり・カゴ作り教室をはじめ各種の体験教室、館外の大規模SCでのもりとびあねっとPR活動なども含め、精力的に活動に参加され、支援していただいた。

また自主活動として、他館の展示方法・工夫などの修得及び会員の親睦を図るために研修旅行(期日:平成30年10月26日(金)、研修先:大船渡市立博物館・大洞貝塚)を企画し、11名が参加された。



ゆいっこまつり(火おこし体験)



もりとびあねっとイベント(板状土偶作り)



サポーターズクラブ研修旅行

(4) 研修・実習活動

【研修・実習受入】

開催日	内 容	依頼団体	参加者
平成30年8月1日(水)	中堅教諭社会体験研修	北厨川小学校	1名

開催日	内 容	依頼団体	参加者
平成30年8月7日(火) ～8月9日(木)	インターンシップ研修	盛岡スコール高等学校2年生	1名
平成30年8月20日(月) ～8月24日(金)		福島大学3年生	1名
平成30年8月27日(月) ～8月31日(金)		岩手大学3年生	1名
平成30年9月3日(月) ～9月7日(金)		盛岡大学3年生	1名
平成30年8月22日(水) ～8月29日(水)	博物館実習	盛岡大学3名, 東海大学1名	4名



インターンシップ研修



博物館実習



博物館実習

(5) 出前講座・講師派遣活動

【出前講座】

開催日	内 容	講 師	依頼団体(会場)	参加者
平成30年5月25日(金)	大館町遺跡見学学習	津嶋 知弘 文化財主査 佐々木 亮二 文化財主査 樋下 理沙 学芸調査員	大新小学校	95名
平成30年7月5日(木)	「東北地方の城と盛岡城」	室野 秀文 文化財副主幹	不来方大学院 (キャラホール)	88名
平成30年7月21日(土)	「盛岡の縄文遺跡」	佐々木 亮二 文化財主査	松園地区公民館	11名
平成30年8月4日(土)	「松園周辺の縄文遺跡ー庄ヶ畑遺跡群ー」	神原 雄一郎 文化財主査	クリーンセンター	8名
平成30年9月1日(土)	わくわくチャレンジふれあいの日(講話・発掘体験)	佐々木 亮二 文化財主査	手代森小学校	70名
平成30年9月28日(金)	「古代の盛岡」	今野 公顕 文化財主査	盛岡老人大学太田校 (太田活動センター)	28名
平成30年10月12日(金)	学びの循環推進事業 「もりおかの遺跡」	佐々木 亮二 文化財主査	杜陵老人福祉センター	36名
平成30年11月9日(金)	繫小中学校出前授業 「繫遺跡」	佐々木 亮二 文化財主査 樋下 理沙 学芸調査員	繫小学校多目的ホール	25名
平成30年12月1日(土)	「震災復興と埋蔵文化財」	佐々木 亮二 文化財主査	西部公民館	50名

開催日	内 容	講 師	依頼団体 (会場)	参加者
平成30年12月7日(金)	「藪川・玉山地区の遺跡」	菊地 幸裕 文化財副主幹	藪川地区公民館	12名
平成31年3月17日(日)	「盛岡の遺跡」	佐々木 亮二 文化財主査	渋民公民館	24名

【講師派遣】

開催日	内 容	講 師	依頼団体 (会場)	参加者
平成30年6月15日(金)	「盛岡の志波城跡と蝦夷の歴史を文化庁日本遺産へ」	今野 公顕 文化財主査	盛岡の歴史を語る会	150名
平成30年7月4日(水)	盛岡城跡視察見学	佐々木 亮二 文化財主査	二戸地区文化財調査員等研修会	16名
平成30年8月19日(日)	「歴史遺産を考える－歴史遺産は誰のもの?－」	今野 公顕 文化財主査	紫波五郎沼歴史研究会 (紫波町赤石公民館)	53名
平成30年9月1日(土)	「稗貫・和賀の中世城館」	室野 秀文 文化財副主幹	花巻市教育委員会 (花巻市総合文化財センター)	46名
平成30年11月11日(日)	「歴史遺産を考える－歴史遺産を生かす－」	今野 公顕 文化財主査	紫波五郎沼歴史研究会 (紫波町古館公民館)	54名
平成31年3月5日(火)	雫石町民歴史講座 「雫石城と周辺の城館」	室野 秀文 文化財副主幹	雫石町中央公民館	65名

(6) 職員研修活動

【専門研修派遣】

期 間	内 容	派遣職員	主催 (会場)
平成30年9月3日(月) ～9月7日(金)	平成30年度文化財担当専門 者研修「地質考古調査課程」	今松 佑太 文化財調査員	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所
平成30年10月18日(木) ～10月19日(金)	平成30年度全国公立埋蔵文 化財センター連絡協議会 第 31回研修会	花井 正香 文化財主査	全国公立埋蔵文化財センター連絡 協議会 (愛知県名古屋市)

【関連会議等出席】

期 間	内 容	派遣職員	主催・会場・視察先
平成30年5月31日(木) ～6月1日(金)	平成30年度全国公立埋蔵文 化財センター連絡協議会総 会	杉本 浩 館長	全国公立埋蔵文化財センター連絡 協議会 (広島県広島市)
平成30年7月27日(金)	平成30年度岩手県博物館等 連絡協議会総会・研修会	多田 秀明 館長補佐	岩手県博物館等連絡協議会 (八幡平市西根地区市民センター ほか)
平成30年9月20日(木) ～9月21日(金)	平成30年度全国公立埋蔵文 化財センター連絡協議会北 海道・東北ブロック会議	菊地 幸裕 文化財副主幹	全国公立埋蔵文化財センター連絡 協議会 北海道・東北ブロック (青森県立郷土館 ほか)

(7) 発掘調査成果の公開及び刊行活動

【現地説明会・公開と調査成果報告会】

開催日時	遺跡名(所在地)	見学者・参加者
平成30年12月1日(土) 13:30～15:00	史跡盛岡城跡第37・38次発掘調査現地説明会	70名
平成31年3月3日(日) 13:30～15:45	第36回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘するー平成30年度調査速報ー」関連事業「平成30年度調査成果報告会」	43名



史跡盛岡城跡 発掘調査現地説明会



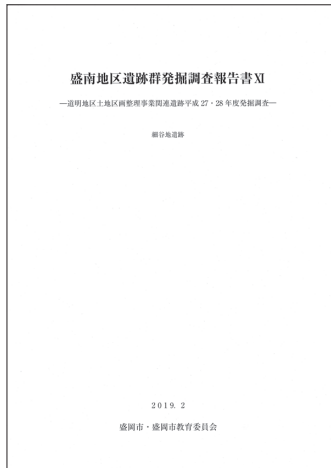
平成30年度調査成果報告会

【埋蔵文化財調査報告書の刊行】

件名	発行日	部数	販売の有無
「盛南地区遺跡群発掘調査報告書XI 一道明地区土地区画整理事業関連遺跡 平成27・28年度発掘調査ー」	平成31年2月28日	300部	公的機関に 配布予定
「向中野幅遺跡ー第1・2次調査(仮称)盛岡学校給食センター建設に伴う発掘調査報告書ー」	平成31年2月28日	300部	

【学芸関連刊行物】

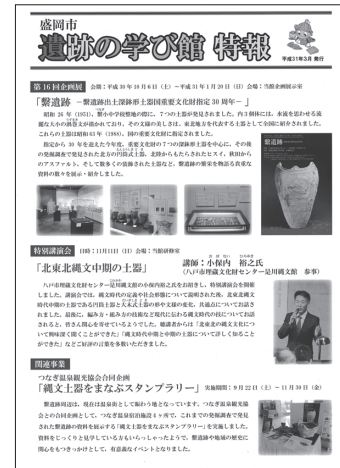
件名	発行日	部数	販売価格等
【展示図録】 遺跡の学び館第16回企画展「繫遺跡」	平成30年10月6日	400部	500円
「盛岡市遺跡の学び館 平成29年度館報」	平成31年3月20日	350部	公的機関に 配布予定
「盛岡市遺跡の学び館 特報」	平成31年3月18日	1,000部	無料配布



盛南地区遺跡群 発掘調査報告書



第16回企画展 展示図録



遺跡の学び館 特報

(8) 他市町村への埋蔵文化財担当職員の派遣及び現地指導

派遣先・依頼機関	職務内容	人数	派遣期間
三戸町教育委員会	三戸城跡保存整備検討委員会	1名	平成30年5月29日(火) 平成30年11月29日(木)
北上市	北上市史編纂に係る古代・中世部会 中世城郭調査担当者打ち合わせ	1名	平成30年7月13日(金) 平成30年10月5日(金)
二戸市教育委員会	史跡九戸城跡現地指導	1名	平成30年8月10日(金)
八戸市教育委員会	根城岡前館跡検討会	1名	平成31年1月16日(水)
花巻市教育委員会	花巻城跡調査保存検討委員会	1名	平成31年1月17日(木)

(9) 図書整備活動

【寄贈図書及び購入図書】

形態	分野	内容	寄贈・購入冊数		計
			平成29年度末	平成30年度増加分	
発掘調査報告書			18,999	601	19,600
一般 図書	考古学	概説書など	298	3	301
	歴史学	日本史・郷土史など	188	2	190
	民俗学	民具・民俗芸能など	21	1	22
	美術工芸	絵画・彫刻・建造物など	37	0	37
	自然科学	動植物など	6	0	6
	文化財保護	一般文化財・保存計画・保存処理・復元など	53	0	53
	博物館学	博物館概論・開館記念誌など	3	0	3
	その他	辞典・事典など	49	3	52
資料集	図録・解説書・パンフ・レジュメなど	2,277	103	2,380	
全集	3冊以上	477	0	477	
論集	論文集など	54	0	54	
通史	市町村史	273	3	276	
逐次刊行物	雑誌・年報・館報・紀要・研究報告など	4,789	267	5,056	
計		27,524	983	28,507	

全国各地の公立及び公益法人の埋蔵文化財センター及び博物館施設等と遺跡発掘調査報告書や遺跡関係書籍及び展示図録・歴史関連書籍や論文、一般刊行物、各種パンフレットなどを主体に図書の交換を行い、保管収集に努めている。これらの蔵書は図書室の開架棚で来館者が自由に閲覧できるものと、図書資料室に収蔵のうえ、受付に申し出て閲覧できる図書に区分している。

3 埋蔵文化財発掘調査

平成30年度に当館は、本発掘調査11件、試掘調査12件、合計23件の調査を行った。総件数は前年度より減少したが、本調査件数は前年度より若干増加している。原因別の内訳は、史跡保存整備事業に伴う事前調査が1件、大規模区画整理事業に係る本調査2件、公共事業に係る本調査1件、民間開発関連では、個人専用住宅建築等に係る本調査5件・試掘調査4件、共同住宅建築等に係る試掘調査3件、宅地造成に係る本調査1件・試掘調査2件、保育園・店舗建設等の各種開発に係る本調査1件・試掘調査3件である。総面積は25,063㎡で、前年度比183.6%となっている。

調査地の地域的分布は、旧市街地区が1地点、太田・向中野地区が3地点、飯岡地区が4地点、厨川地区が11地点、上田地区が1地点、乙部地区が1地点、繫地区が1地点、玉山地区が1地点となっている。

本報告では、遺構及び遺物が検出された調査を主体に記述し、その他については一覧表での記載のみに留めた。なお、次節の赤裳遺跡第8次調査は、本報告をもって正式報告とする。

【平成30年度埋蔵文化財発掘調査（本調査・試掘調査）一覧】

区分	No	遺跡名	回数	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	主な検出遺構・出土遺物
本 調 査	1	盛岡城跡	37 ・ 38	内丸57-1地内	史跡保存整備 の事前調査	9月27日～ 12月21日	510	三ノ丸石垣天端石・栗石・盛土、 土塀控柱列跡 台所門枡形南東部石垣・栗石、 土橋、土塁 藩政期の瓦、陶磁器類 コンテ ナ約40箱
	2	里館遺跡	64	天昌寺町242-5・ 32、245-1・6 の各一部	保育園建設	4月2日～ 6月22日	920	中世の竪穴建物跡6棟、竪穴 跡1棟、堀跡1条、中～近世 の掘立柱建物跡22棟、柱列跡 6列、土坑12基、柱穴跡478口、 近世の竪穴状遺構1棟 中近世の陶磁器、鉄製品、古銭
	3	西鹿渡遺跡	35	三本柳2地割 28-1	宅地造成	4月9日～ 7月17日	3,032	奈良時代の竪穴建物跡5棟、 竪穴状遺構1基、古代以降の 土坑4基、溝跡2条 奈良時代の土師器・須恵器、土 製品 コンテナ約8箱
	4	大新町遺跡	84	大新町13-18	個人住宅建築	4月10日～ 5月28日	74	縄文時代の竪穴建物跡7棟、 土坑12基、遺物包含層 縄文土器・石器、石製品、炭化 材、コハク コンテナ約10箱
	5	下永林遺跡	5	津志田14地割 3-8外	土地区画整理 事業	6月1日～ 7月11日・ 9月3日～ 11月19日	2,078	縄文時代の陥し穴状土坑3基、 奈良・平安時代の円形周溝2基、 土壙墓2基、古代以降の竪穴建 物跡1棟、掘立柱建物跡1棟 奈良・平安時代の土師器・あかや き土器、鉄製品、近代以降の陶磁 器、ガラス瓶 コンテナ約5箱
	6	里館遺跡	65	天昌寺町247-4・ 5	個人住宅建築	6月6日～ 6月26日	137	戦国時代の堀跡1条 縄文土器、土師器、鉄製品
	7	赤裳遺跡	8	西青山一丁目 23-1	私道改良工事	6月11日～ 6月20日	188	平安時代の竪穴建物跡1棟、 土坑1基、溝跡1条 平安時代後期の土師器 コン テナ約1/4箱

区分	No	遺跡名	次数	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	主な検出遺構・出土遺物
本調査	8	細谷地遺跡	38	向中野字細谷地 21-1 外	土地区画整理 事業	7月2日～ 8月23日・ 10月1日～ 11月30日	4,451	縄文時代の陥し穴状土坑2基, 古代の竪穴建物跡1棟, 溝跡7 条, 近世の掘立柱建物跡2棟, 柱列跡2列 古代の土師器, 近現代の陶磁器, ガラス瓶 コンテナ約6箱
	9	向中野幅遺跡	4	向中野字畑返1 外	新産業等用地 整備事業	7月9日～ 9月28日	10,847	縄文時代以降の陥し穴状土坑3 基, 平安時代以降の土坑3基, 溝跡21条 平安時代の土師器・須恵器・あ かやき土器, 近世以降の陶磁 器, ガラス瓶, 木製品
	10	繫V遺跡	38	繫字萩内沢94-1	個人住宅建築	7月19日～ 9月19日	198	縄文時代の竪穴建物跡5棟, 土坑3基, 遺物包含層 縄文土器・石器 コンテナ約 10箱 (一部現状保存措置)
	11	安倍館遺跡	92	安倍館町121-1 の一部	個人住宅建築	10月9日～ 10月16日	33	中世の堀跡1条
試掘調査	12	乙部方八丁遺跡	13	乙部32地割 23-1	個人住宅増 築・倉庫建築	4月13日	14	遺構・遺物なし
	13	西黒石野遺跡	15	黒石野二丁目 26-3, 27	宅地造成	4月16日～ 4月18日	385	遺構 なし 縄文土器片, 石器
	14	赤袈遺跡	6	西青山一丁目 13-1	共同住宅建築	4月18日	29	遺構・遺物なし
	15	赤袈遺跡	7	西青山二丁目36- 12・13	宅地造成	4月26日	160	遺構・遺物なし
	16	安倍館遺跡	91	上堂一丁目85-7	個人住宅建築	5月17日	23	遺構・遺物なし
	17	稲荷町遺跡	34	稲荷町3-1・4, 5-1・2 外	高齢者向け賃 貸住宅建設	5月23日～ 5月25日	520	平安時代後期以降の堀跡1条, 土坑7基, 溝跡6条, 柱穴跡 148口 土師器片, 水晶製切子玉 (現状保存措置)
	18	宿田南遺跡	14	北夕顔瀬町37-4	建売住宅建築	5月31日	62	平安時代以降の土坑3基, 柱 穴跡7口, 土坑または竪穴建 物跡1ヶ所 (現状保存措置)
	19	日戸I遺跡	2	日戸字一本杉 50-1	個人住宅建築	6月5日～ 6月7日	141	縄文時代の竪穴建物跡3棟, 土坑8基, 石囲炉状遺構1基, 弥生時代以降の溝状土坑1基 縄文土器・石器, 土偶 (現状保存措置)
	20	畑中遺跡	1	上太田畑中13・ 14・16・17	砂利採取工事	7月9日～ 7月11日	910	平安時代の溝跡1条
	21	下永林遺跡	6	三本柳10地割 46-3・7	共同住宅建築	9月19日～ 9月21日	56	古代の円形周溝1基
	22	安倍館遺跡	93	安倍館町124-5	個人住宅建築	10月10日	16	中世の堀跡1条
	23	下永林遺跡	7	三本柳10地割 43-8, 44-1 外	店舗建設	3月27日～ 3月28日	282	遺構・遺物なし
	総面積							25,063



1	日戸Ⅰ遺跡 (第2次)	2	赤裳遺跡 (第8次)	3	安倍館遺跡 (第92次)
4	大新町遺跡 (第84次)	5	里館遺跡 (第64次)	6	里館遺跡 (第65次)
7	稻荷町遺跡 (第34次)	8	盛岡城跡 (第37・38次)	9	繫V遺跡 (第38次)
10	細谷地遺跡 (第38次)	11	向中野幅遺跡 (第4次)	12	西鹿渡遺跡 (第35次)
13	下永林遺跡 (第5次)				

平成30年度調査遺跡 位置図

○史跡整備に伴う事前調査

(1) 国指定史跡 もりおかじょうあと 盛岡城跡 第37・38次調査

- | | | | |
|--------|---|----------|-------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市内丸57-1地内 | 2 調査原因 | 史跡保存整備事業に伴う事前調査 |
| 3 調査方法 | トレンチによる内容確認調査 | 4 調査期間 | 平成30年9月27日～12月21日 |
| 5 調査面積 | 510㎡ | 6 調査員 | 佐々木 亮二・今松 佑太 |
| 7 検出遺構 | 三ノ丸石垣天端石・栗石・盛土，土塀控柱列跡
台所門枳形南東部石垣・栗石，土塁，土橋 | | |
| 8 出土遺物 | 藩政期の軒丸瓦，軒平瓦，丸瓦，平瓦，陶磁器 | コンテナ約40箱 | |
| 9 調査概要 | 史跡盛岡城跡は，市街地中心部の内丸に所在する盛岡藩南部氏の居城跡である。本丸，二ノ丸，三ノ丸などで構成される連郭式縄張の内曲輪（御城内）を要とし，その外側に外曲輪，遠曲輪を配置した梯郭式の城郭である。主要曲輪は総石垣造りとなっている。築城から400年以上経過し，石垣は城内各所で孕みや陥没が認められ，一部では崩落の危険性もあげられる。 | | |

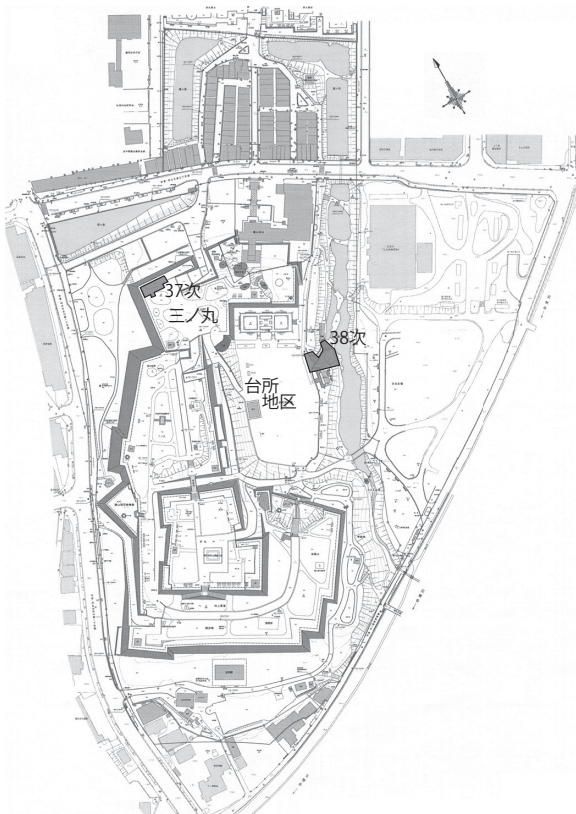
本市では，平成24年に策定した「史跡盛岡城跡整備基本計画」に基づき，石垣の解体修理をはじめとする保存整備計画を計画し，これに係る事前調査を平成25年度から実施している。第37次調査は三ノ丸北西石垣を，第38次調査は台所門枳形周辺を調査対象とした。

三ノ丸北西石垣においては，天端石及び裏込めの栗石・盛土が検出された。栗石は時期により充填の様相に相違が認められ，石垣築造の変遷が窺える。また，土塀の控柱と想定される柱列跡も確認された。重複関係から2時期の構築が認められるものである。

台所門枳形からは，石垣，土橋，土塁等が検出された。土塁は，土留めの役割を果たしていたと推測される石組遺構を伴っていたほか，土橋との境目に設置された縁石も確認されており，当該区域の構造を示す知見である。



第37次調査 三ノ丸石垣



第37・38次調査区 位置図

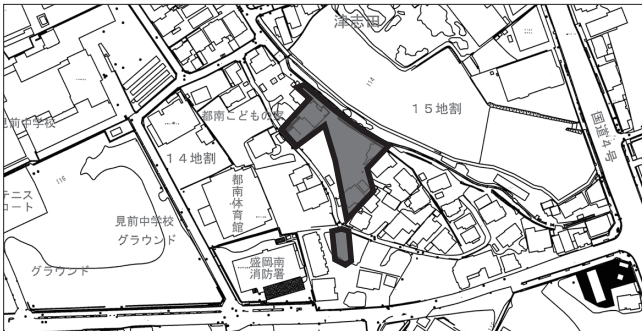


第38次調査 台所門枳形

○公共事業関連

(1) ^{しもながばやし}下永林遺跡 第5次調査

- 1 調査地 盛岡市津志田 14 地割 3-8 外
- 2 調査原因 都南中央第三地区土地区画整理事業
- 3 調査方法 調査対象区域全面の本調査
- 4 調査期間 平成 30 年 6 月 1 日～7 月 11 日,
9 月 3 日～11 月 19 日
- 5 調査面積 2,078㎡
- 6 調査員 花井 正香・上柿 南
- 7 検出遺構 縄文時代の陥し穴状土坑 3 基, 奈良・平安時代の円形周溝 2 基, 土壘墓 2 基, 溝跡 1 条, 古代以降の竪穴建物跡 1 棟, 掘立柱建物跡 1 棟, 柱列跡 4 列, 溝跡 1 条, 近代以降の堰跡 1 条, 時期不詳のピット 106 口
- 8 出土遺物 弥生土器, 奈良・平安時代の土師器・あかやき土器, 鉄製品, 炭化材, 近代以降の陶磁器, 土製品, ガラス瓶 コンテナ約 5 箱
- 9 調査概要 本遺跡は, 大道西古墳とも称され, 昭和初期に蕨手刀が出土したことで知られている。今次調査では, 縄文時代の陥し穴状土坑, 奈良・平安時代の円形周溝等の遺構が確認された。



第 5 次調査区 位置図 (1 : 5,000)



第 5 次調査 円形周溝

(2) ^{ほそやち}細谷地遺跡 第 38 次調査

- 1 調査地 盛岡市向中野字細谷地 21-1 外
- 2 調査原因 道明地区土地区画整理事業
- 3 調査方法 調査対象区域全面の本調査
- 4 調査期間 平成 30 年 7 月 2 日～8 月 23 日,
10 月 1 日～11 月 30 日
- 5 調査面積 4,451㎡
- 6 調査員 今野 公顕・鈴木 俊輝
- 7 検出遺構 縄文時代の陥し穴状土坑 2 基, 古代の竪穴建物跡 1 棟, 溝跡 7 条, 近世の掘立柱建物跡 2 棟, 柱列跡 2 列, 時期不詳の土坑 2 基, ピット 36 口
- 8 出土遺物 縄文時代の石鏃, 古代の土師器, 近現代の陶磁器, ガラス瓶 コンテナ約 6 箱
- 9 調査概要 本遺跡は, 北上川西岸と雫石川南岸に広がる低位沖積段丘の南端縁辺部に立地し, これまでに奈良・平安時代の竪穴建物跡が 230 棟以上確認された大規模集落跡である。今次調査では, 縄文時代の陥し穴状土坑, 古代の竪穴建物跡等の遺構と, 土師器等の遺物を検出した。



第 38 次調査区 位置図 (1 : 5,000)



第 38 次調査 陥し穴状土坑

むかいなかのはば
(3) 向中野幅遺跡 第4次調査

- | | | | |
|--------|---|--------|-----------------|
| 1 調査地 | 盛岡市向中野字畑返1外 | 2 調査原因 | 新産業等用地整備事業 |
| 3 調査方法 | 要調査区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 平成30年7月9日～9月28日 |
| 5 調査面積 | 10,847㎡ | 6 調査員 | 今野 公顕・上柿 南 |
| 7 検出遺構 | 縄文時代以降の陥し穴状土坑3基，平安時代以降の土坑3基，溝跡21条 | | |
| 8 出土遺物 | 平安時代の土師器・須恵器・あかやき土器，近世以降の陶磁器，ガラス瓶，木製品 | | |
| 9 調査概要 | 本遺跡は，「道明堤」と呼称された近世の水利施設が著名な遺跡である。今次調査では，陥し穴状土坑や井戸と推測される土坑，水路等の溝跡が確認された。なお，本調査については，別途報告済（『向中野幅遺跡－第3・4次調査 盛岡市新産業等用地整備事業に伴う発掘調査報告書』2019年9月）である。 | | |



第4次調査区 位置図 (1:5,000)

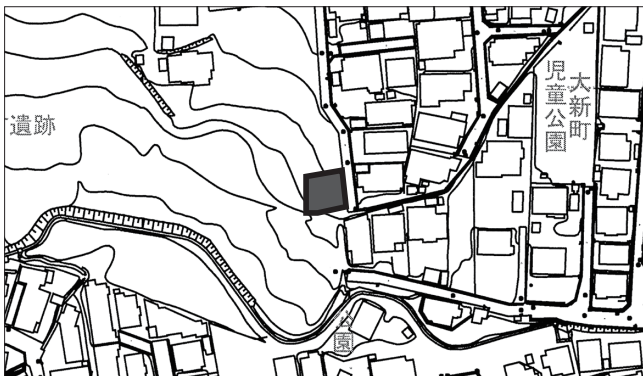


第4次調査 全景

○個人住宅建築関連

だいしんちょう
(1) 大新町遺跡 第84次調査

- | | | | |
|--------|--|--------|------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市大新町13-18 | 2 調査原因 | 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 平成30年4月10日～5月28日 |
| 5 調査面積 | 74㎡ | 6 調査員 | 花井 正香・鈴木 俊輝 |
| 7 検出遺構 | 縄文時代の竪穴建物跡7棟，土坑12基，遺物包含層，時期不詳のピット5口 | | |
| 8 出土遺物 | 縄文土器，石器，石製品，炭化材，コハク コンテナ約10箱 | | |
| 9 調査概要 | 本遺跡は，北上川に沿って舌状に張り出した滝沢台地南縁の緩斜面に立地する。今次調査の結果，縄文時代中期前葉～中葉の竪穴建物跡，貯蔵穴と推測される土坑，縄文時代早期を主体とする遺物包含層が検出され，当該期の土器，石器・石製品等の遺物が出土した。また，特徴的な遺物として，線刻礫が出土している。 | | |



第84次調査区 位置図 (1:2,500)



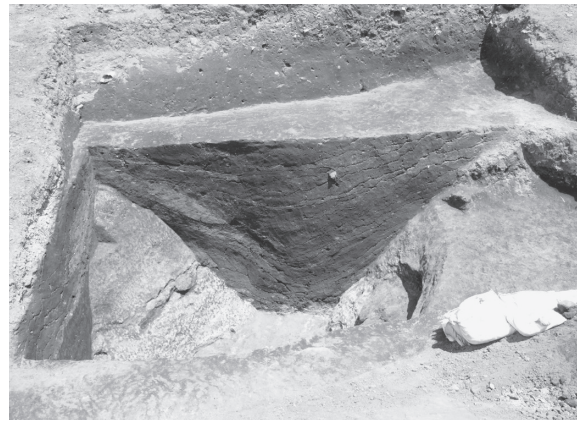
第84次調査 全景

(2) ^{さたて}里館遺跡 第65次調査

- | | | | |
|--------|---|--------|-----------------|
| 1 調査地 | 盛岡市天昌寺町 247-4・5 | 2 調査原因 | 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 平成30年6月6日～6月26日 |
| 5 調査面積 | 137㎡ | 6 調査員 | 今野 公顕・佐々木 亮二 |
| 7 検出遺構 | 戦国時代の堀跡1条，近世以降の柱穴跡8口 | | |
| 8 出土遺物 | 縄文土器，平安時代の土師器，時期不明の鉄製品 | | |
| 9 調査概要 | 本遺跡は，雫石川北岸の段丘上に立地している。中世工藤氏の城館跡とされ，これまでの調査で，中世の堀跡，掘立柱建物跡，竪穴建物跡，柱列跡等の遺構が多数確認されている。今次調査では，曲輪を囲む戦国期の堀跡の一部が確認された。 | | |



第65次調査区 位置図 (1:2,500)



第65次調査 堀跡

(3) ^{つなぎご}繋V遺跡 第38次調査

- | | | | |
|--------|---|--------|------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市繋字葎内沢 94-1 | 2 調査原因 | 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 平成30年7月19日～9月19日 |
| 5 調査面積 | 198㎡ | 6 調査員 | 佐々木 亮二・今松 佑太 |
| 7 検出遺構 | 縄文時代の竪穴建物跡5棟，土坑3基，遺物包含層 | | |
| 8 出土遺物 | 縄文土器，石器 コンテナ約10箱 | | |
| 9 調査概要 | 本遺跡は，雫石川に形成された雫石盆地の東端，篠木・東根山山地の北麓に立地する，縄文時代中期を主体とする大規模集落跡である。今次調査では，中期中葉を主体とする竪穴建物跡と，縄文前期から晩期の遺物包含層，及び該期の縄文土器，石器が確認された。検出された竪穴建物跡のうち1棟は，長軸約9mの大型住居で，石囲炉を伴っていた。(設計変更により一部現状保存措置) | | |



第38次調査区 位置図 (1:2,500)



第38次調査 竪穴建物跡

(4) ^{あべたて}安倍館遺跡 第92次調査

- | | | | |
|--------|--|--------|-----------------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市安倍館町 121-1 の一部 | 2 調査原因 | 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 | 対象区域のうち掘削範囲の本調査 | 4 調査期間 | 平成 30 年 10 月 9 日～ 10 月 16 日 |
| 5 調査面積 | 33㎡ | 6 調査員 | 室野 秀文 |
| 7 検出遺構 | 中世の堀跡 1 条 | | |
| 8 出土遺物 | なし | | |
| 9 調査概要 | 本遺跡は、滝沢台地の東辺部、南北に長い舌状台地上に立地する。中世工藤氏の城館「厨川城」とされている。今次調査では、外館北側を囲む堀跡が検出された。第 66 次調査で確認された堀跡の延長にあたるものである。 | | |



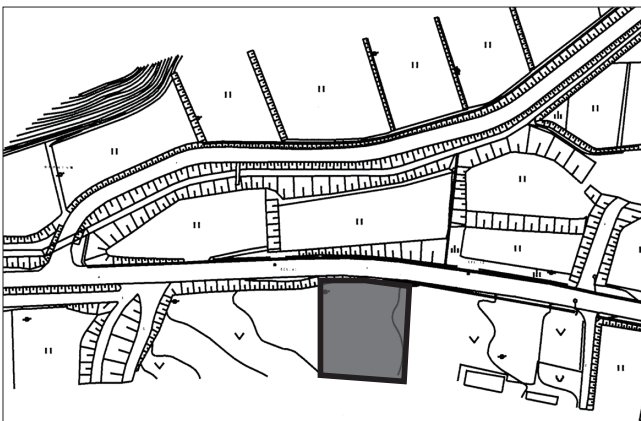
第 92 次調査区 位置図 (1 : 2,500)



第 92 次調査 堀跡

(5) ^{ひのといち}日戸 I 遺跡 第 2 次調査

- | | | | |
|--------|---|--------|--------------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市日戸字一本杉 50-1 | 2 調査原因 | 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 | 対象範囲表土除去による確認調査 | 4 調査期間 | 平成 30 年 6 月 5 日～ 6 月 7 日 |
| 5 調査面積 | 141㎡ | 6 調査員 | 津嶋 知弘・今松 佑太 |
| 7 検出遺構 | 縄文時代の竪穴建物跡 3 棟，土坑 8 基，石囲炉状遺構 1 基，弥生時代以降の溝状土坑 1 基 | | |
| 8 出土遺物 | 縄文土器，石器，土偶 コンテナ約 1 箱 | | |
| 9 調査概要 | 本遺跡は、日戸川北岸の中・低位段丘上に立地している。今次調査の結果，縄文時代中・後期に帰属する竪穴建物跡，貯蔵穴と推測される土坑，礫を円形に配置した石囲炉跡と想定される遺構等と，該期の土器，石器が確認された。(盛土工法により現状保存措置) | | |



第 2 次調査区 位置図 (1 : 2,500)

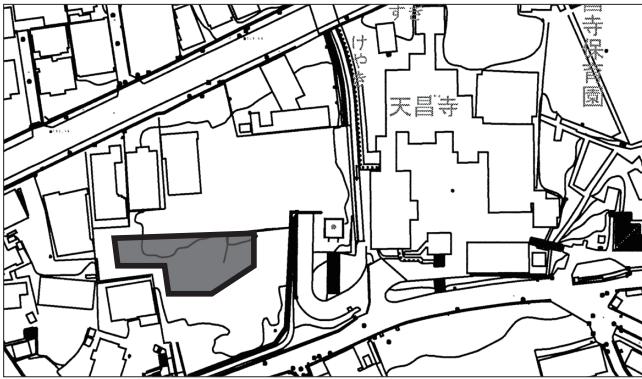


第 2 次調査 全景

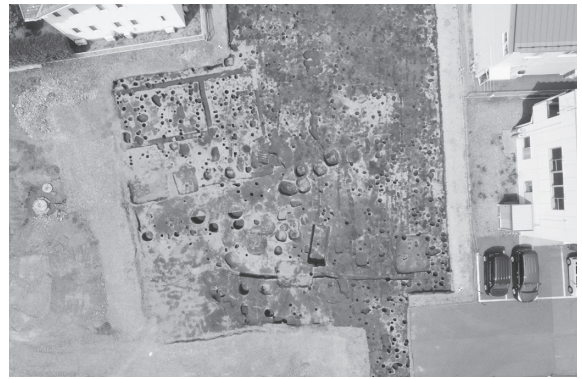
○民間開発関連

(1) 里館遺跡 第64次調査

- 1 調査地 盛岡市天昌寺町 245-1・6, 242-5, 2 調査原因 保育園建設
242-32 の各一部
- 3 調査方法 調査対象区域全面の本調査
- 4 調査期間 平成30年4月2日～6月22日
- 5 調査面積 920㎡
- 6 調査員 今野 公顕・佐々木 亮二・上柿 南
- 7 検出遺構 中世の竪穴建物跡6棟, 竪穴跡1棟, 堀跡1条, 溝跡1条, 中世～近世の掘立柱建物跡22棟, 柱列跡6列, 土坑12基, 柱穴跡478口, 近世の竪穴状遺構1棟
- 8 出土遺物 中世～近世の陶磁器, 鉄製品, 古銭, 古墳時代の須恵器
- 9 調査概要 今次調査は, 遺跡東側曲輪に位置し, 戦国期の掘立柱建物跡, 工房等の竪穴建物跡等の遺構と中国産陶磁器, 瀬戸美濃系陶器等の遺物が確認された。遺構の状況から城館の主要部分をなしていたと想定される。なお, 本調査については別途報告済(『里館遺跡－保育園建築に伴う緊急発掘調査報告書－』2019年8月)である。



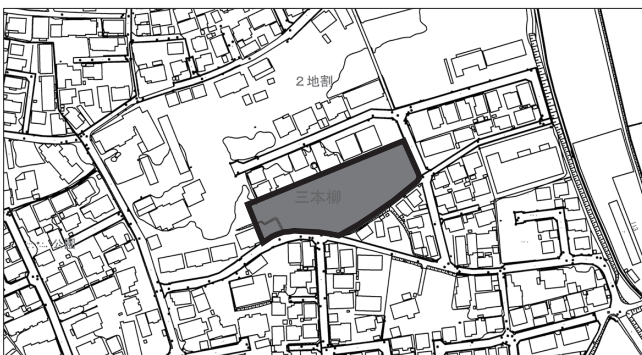
第64次調査区 位置図 (1:2,500)



第64次調査 全景

(2) 西鹿渡遺跡 第35次調査

- 1 調査地 盛岡市三本柳2地割 28-1
- 2 調査原因 宅地造成
- 3 調査方法 調査対象区域全面の本調査
- 4 調査期間 平成30年4月9日～7月17日
- 5 調査面積 3,032㎡
- 6 調査員 菊地 幸裕・今松 佑太
- 7 検出遺構 奈良時代の竪穴建物跡5棟, 竪穴状遺構1基, 古代以降の土坑4基, 溝跡2条
- 8 出土遺物 奈良時代の土師器・須恵器, 土製紡錘車 コンテナ約8箱
- 9 調査概要 本遺跡は, 北上川西岸に広がる低位沖積段丘上に立地している。今次調査では, 奈良時代の竪穴建物跡等の遺構と該期の土器, 土製紡錘車等の遺物が確認された。なお, 本調査については, 別途報告済(『西鹿渡遺跡－宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書－』2019年7月)である。



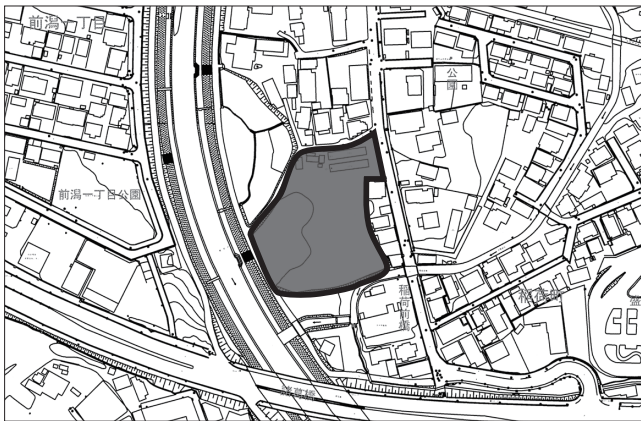
第35次調査区 位置図 (1:5,000)



第35次調査 竪穴建物跡

(3) ^{いなりちょう}稲荷町遺跡 第34次調査

- | | | | |
|--------|---|--------|------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市稲荷町 3-1・4, 5-1・2,
6-1・7・8, 9-2・10・11 | 2 調査原因 | 高齢者向け賃貸住宅建設 |
| 3 調査方法 | トレンチによる遺構確認調査 | 4 調査期間 | 平成30年5月23日～5月25日 |
| 5 調査面積 | 520㎡ | 6 調査員 | 室野 秀文 |
| 7 検出遺構 | 古墳～奈良時代の土坑1基, 平安時代後期以降の土坑7基, 堀跡1条, 溝跡6条, 柱穴跡148口 | | |
| 8 出土遺物 | 平安時代の土師器, 水晶製切子玉 | | |
| 9 調査概要 | 本遺跡は, 雫石川と諸葛川の合流点の北岸の段丘上に立地している。今次調査では, 平安時代後期以降に比定される堀跡, 溝跡, 多数の柱穴跡等の遺構が検出された。また, 特徴的な遺物として, 古墳時代～奈良時代の土坑の上面から, 水晶製の切子玉が出土した。(設計変更により現状保存措置) | | |



第34次調査区 位置図 (1:5,000)



第34次調査 土坑検出状況

4 赤裳遺跡第6次, 第7次, 第8次調査(附)第5次調査の土坑

1 遺跡の位置と調査経過

赤裳遺跡は盛岡市西青山1丁目にあり、滝沢台地西側の緩斜面部に立地する。この遺跡では平成12年度以後、民間開発に伴い埋蔵文化財調査が実施されてきた。平成26年度から平成27年度には、本調査区南東側の第3次, 第4次調査で、平安時代後期の11世紀を中心とする土器生産関連の遺構群が明らかにされた。また平成29年度の第5次調査では古代以後の土坑が3基確認されている。

表1 赤裳遺跡調査一覧

次	所在地	調査原因	調査期間	面積	内 容	調査員	備 考
1次	西青山1丁目22-1	貸家建築	2000.9.27	173m ²	縄文土坑2, 平安以後柱穴10, 土坑1, 近世掘立柱建物1	室野秀文	掘削制限 工事実施
2次	西青山1丁目23	宅地造成	2014.5.13～5.15	207m ²	遺構・遺物なし	津嶋知弘	工事実施
3次	西青山1丁目21, 16-2	個人住宅	2014.10.14～12.25	578m ²	縄文土坑2, 平安掘立柱建物4, 土器窯1, 土取穴1, 柱穴, 溝1, 近世溝1	室野秀文	工事予定
4次	西青山1丁目21, 16-2	個人住宅	2015.5.11～6.30	510m ²	平安竪穴建物1, 土器窯2, 土坑3, 土取穴4, 柱穴群	室野秀文 今松佑太	工事予定
5次	西青山1丁目21	個人住宅	2017.6.28	94.3m ²	土坑3	鈴木俊輝	工事実施
6次	西青山1丁目13-1	共同住宅	2018.4.18	28.8m ²	遺構・遺物なし	室野秀文	工事実施
7次	西青山2丁目17-14外	宅地造成	2018.4.26	160m ²	遺構・遺物なし	室野秀文	工事実施
8次	西青山1丁目23-1	私道改良	2018.6.11～6.20	188.2m ²	平安竪穴建物1, 溝1, 古代以後土坑1	室野秀文 今松佑太	工事実施

2 試掘調査

第6次調査は、昭和23年米軍撮影空中写真において、北西から南東方向に、黒い帯状のソイルマークが現れており、その形状と範囲から、台地を区画する堀の可能性も予測されたことから、試掘調査を実施した。その結果人工の堀ではなく、南西側に緩く傾斜し、北西から南東方向の沢か谷地であることが判明した。遺構遺物は確認されなかった。第7次調査は遺跡南東部で試掘調査を実施したが、自然低地の中であり、湧水も著しい。遺構、遺物は確認されなかった。

3 第8次調査

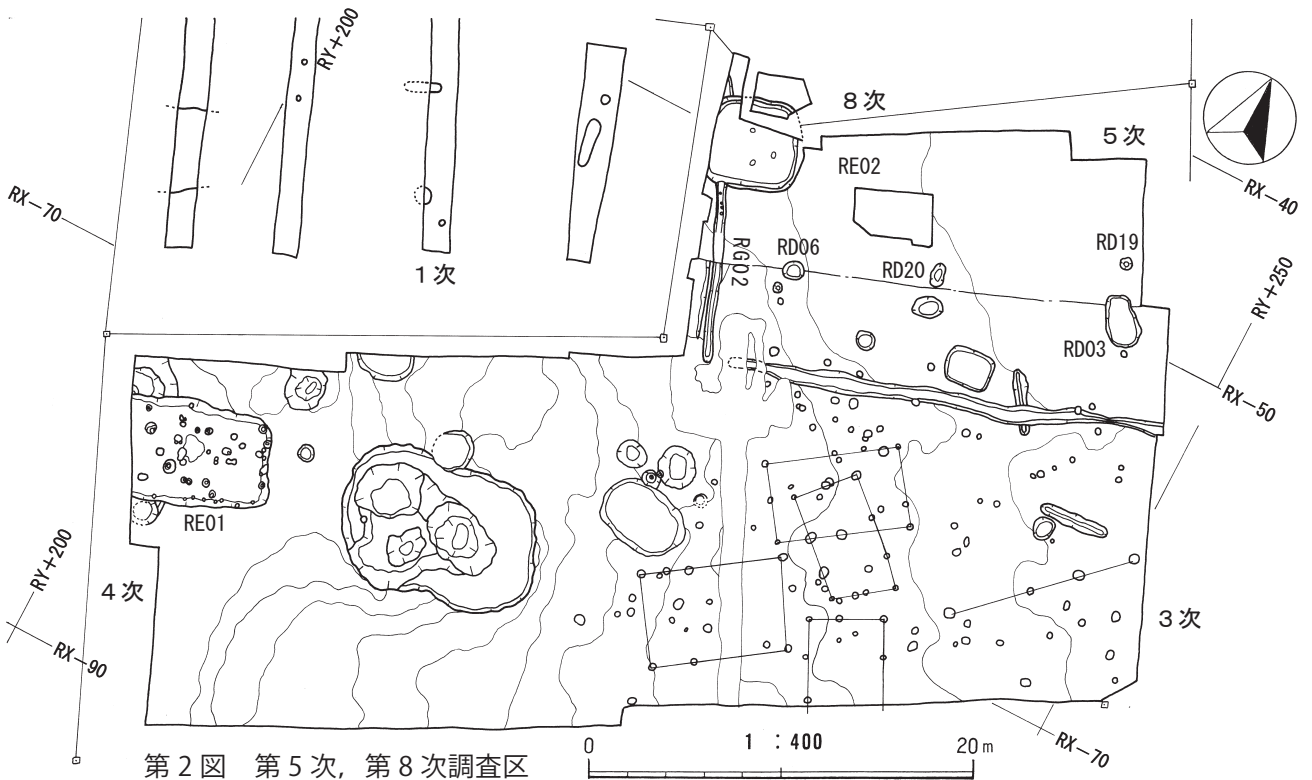
RE02 竪穴建物跡 第8次調査区南西側にあり、表土直下の地山(黄褐色火山灰砂層)上面で確認された。本遺構はRG02溝を掘りこんでいる。西壁は調査区外であり、北部は既設水道管のため一部不明ながら、竪穴の主軸方位はN23°Wを示し、一辺が4.4m～4.7mの隅丸方形プランである。壁の高さは0.49m～0.54m残存し、壁の下部は床面から急勾配で立ち上がり、上部は緩く外傾している。



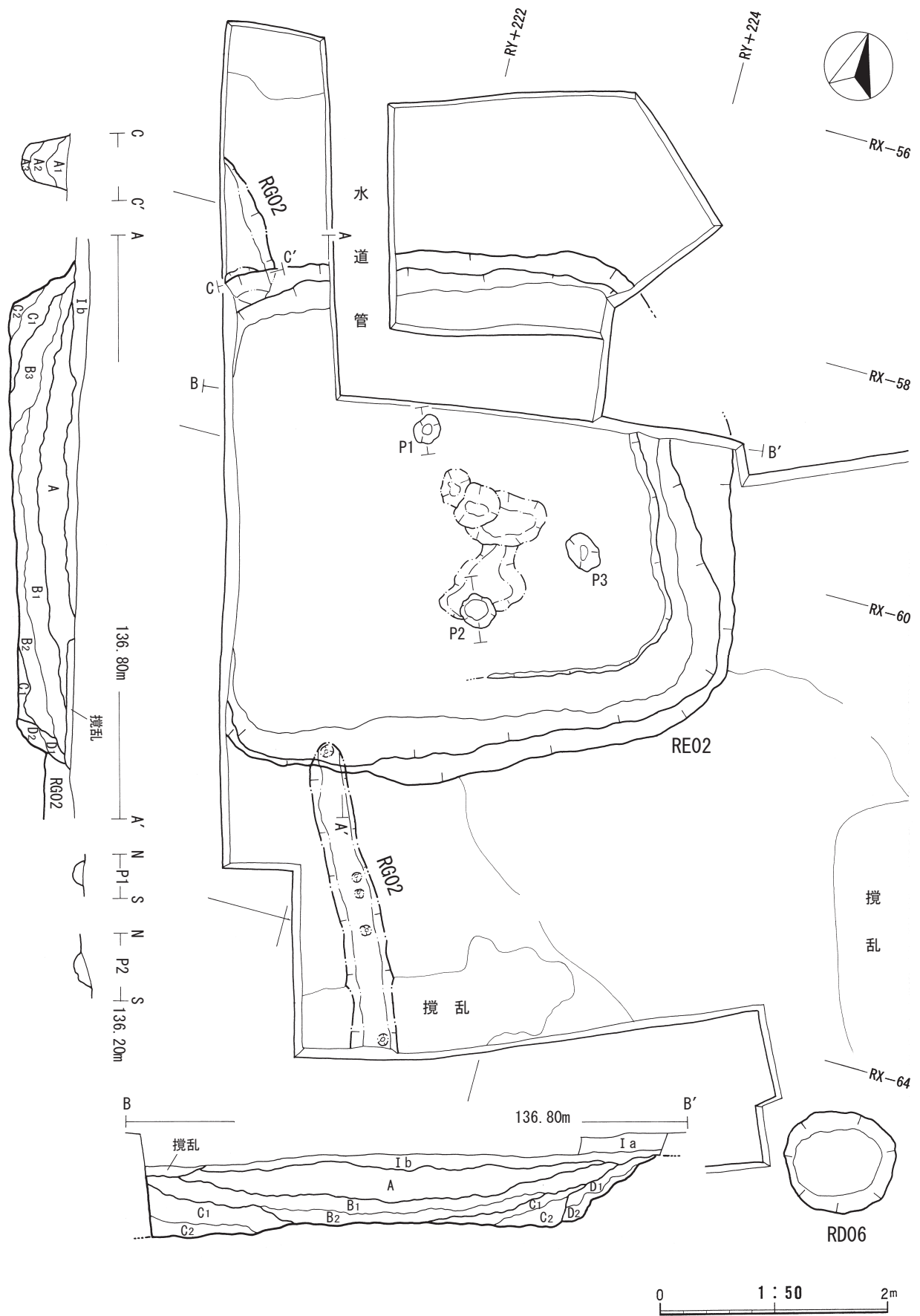
RE02 竪穴建物跡



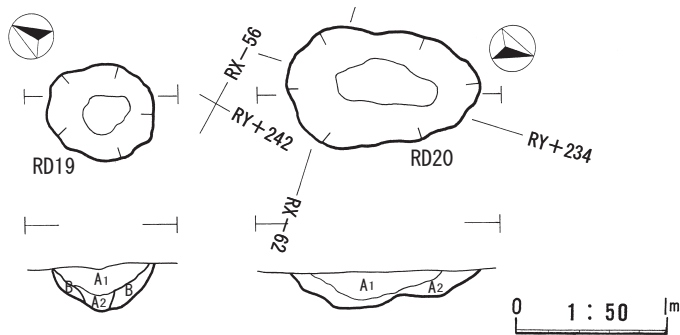
第1図 赤袈遺跡調査区位置図



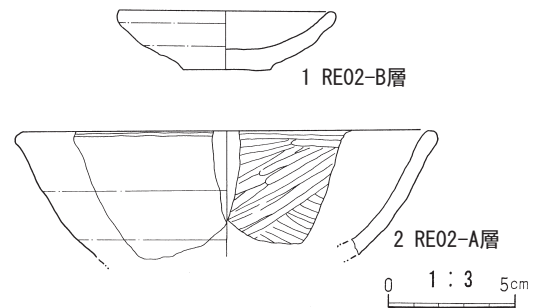
第2図 第5次, 第8次調査区



第3図 RE02 竖穴建物跡, RG02 溝, RD06 土坑



第4図 RD19, RD20 土坑



第5図 RE02 竪穴建物跡出土土器

床面はほぼ平坦であるが、硬い面は認められない。東側の壁から 12cm、南側の壁から 32cmの位置に、高さ 2cm～3cmの段差があり、壁際の埋土 D 層がこれに対応している。このことから竪穴の壁を一度縮小していることがわかる。P 1 と P 2 は柱穴状であるが、浅く、柱痕跡は認められない。P 3 は不正形な窪みで深さは 4cm である。中央部は貼り床で褐色土と暗褐色土の混合土が入れられ、構築面は凹凸が著しい。竪穴の埋土は A 層から D 層に分けられ、全般に硬い。A 層は自然堆積土、B、C 層は人為的に埋め戻された土層、D 層は縮小された壁の構築土である。A 層は粉状の黒色土主体で暗褐色土が少量混入する。B 層は B 1 層～B 3 層に分けられ、B 1 層と B 2 層は黒褐色土主体で、黄褐色土または褐色土の粒や塊が混入する。B 3 層は粉状の黒褐色土に褐色土粒が混入する。C 層のうち C 1 層は黄灰色土と褐色土、暗褐色土の塊状混合土。D 層は D 1 層、D 2 層に分けられ、黒褐色土と暗褐色または褐色土の塊状混合土である。

出土遺物は埋土の A 層～C 層より、土師器破片が出土している。第 5 図 1 は土師器小皿、2 は土師器坏で、内面をヘラミガキ後、黒色処理している。

RD03 土坑 第 5 次調査区南東側にあり、第 3 次調査で大半を調査し、第 5 次調査で北端部を確認した。土坑の規模は南北 2.65 m、幅 1.6 m～1.7 m、深さ 30cm である。埋土は黒褐色土主体で近世以後の土坑である。

RD06 土坑 調査区南側にあり、第 3 次調査において南半部を調査し、今回北半部を調査した。径 90cm～98cm の円形土坑で、深さは 18cm、埋土は黒褐色土で、土質から近世以後の土坑である。

RD19 土坑 第 5 次調査区東側にあり、径 60cm～70cm の不正円形で深さは 30cm、埋土は A 層が黒色土主体、B 層が暗褐色土主体である。土質から古代以後の土坑である。

RD20 土坑 第 5 次調査区南西側にあり、長さ 1.28 m、幅が 78cm、深さ 24cm の不正形土坑である。埋土は黒色土主体で、古代以後の土坑である。

RG02 溝 第 3 次調査で南端を確認し、第 8 次調査で北西に延長されることが判明した。前回の調査では近代以後としたが、遺物は出土しなかった。今回遺構の重複関係から RE02 竪穴建物跡より古い溝であることが確認された。溝の規模は幅 35cm～45cm、深さ 30cm～42cm あり、断面は U 字状で、底面に 5 か所の杭状の穴が並ぶ。穴の深さは 2cm～15cm である。溝の形態や底部のピットから柵の布掘溝、または抜取溝の可能性はある。

4 まとめ

第 6 次、第 7 次調査では遺構遺物は確認されなかった。第 8 次調査の RE02 竪穴建物跡は、第 3 次、第 4 次調査と同様の 11 世紀中葉の遺構である。これにより、この時期の遺構群が北西側に拡がるということが判明した。RG02 溝は柵の布掘溝または抜取溝であり、RE02 竪穴建物跡より古い。RG02 溝の北西方向の延長部分など、周辺遺構の拡がりについては、今後の調査課題である。

なお、8 次調査区北側の旧住宅部分は、基礎撤去時立会調査を実施した。住宅の南半部は攪乱が著しく、北半部については遺構遺物がないことを確認した。

報告書抄録

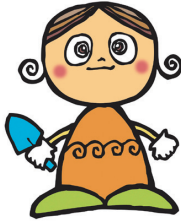
ふりがな		もりおかしいせきのまなびかん へいせい30ねんど かんぼう						
書名		盛岡市遺跡の学び館 平成30年度館報						
編集者名		三浦志麻・室野秀文・菊地幸裕・津嶋知弘・今野公顕・花井正香・佐々木亮二・鈴木俊輝						
編集機関		盛岡市遺跡の学び館						
所在地		〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13-1 電話 019-635-6600						
発行年月日		2020年3月25日						
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
盛岡城跡 (第37・38次)	岩手県盛岡市内丸 57-1	03201	LE16-0355	39°42'01"	141°09'00"	20180927 ～1221	510	保存整備事業に伴う事前調査
下永林遺跡 (第5次)	岩手県盛岡市津志田 14地割3-8外		LE27-2054	39°39'16"	141°09'43"	20180601 ～1119	2,078	土地区画整理事業
細谷地遺跡 (第38次)	岩手県盛岡市向中野 字細谷地21-1外		LE26-0214	39°40'29"	141°08'30"	20180702 ～1130	4,451	土地区画整理事業
向中野幅遺跡 (第4次)	岩手県盛岡市向中野 字畑返1外		LE26-0371	39°40'19"	141°08'45"	20180709 ～0928	10,847	新産業等用地整備事業
大新町遺跡 (第84次)	岩手県盛岡市大新町 13-18		LE06-1075	39°42'53"	141°06'58"	20180410 ～0528	74	個人住宅建築
里館遺跡 (第65次)	岩手県盛岡市北天昌 寺町247-4・5		LE06-2027	39°42'43"	141°07'15"	20180606 ～0626	137	個人住宅建築
繫V遺跡 (第38次)	岩手県盛岡市繫字料 内沢94-1		LE24-0030	39°40'26"	141°01'08"	20180719 ～0919	198	個人住宅建築
安倍館遺跡 (第92次)	岩手県盛岡市安倍館 町121-1の一部		LE06-1123	39°43'14"	141°07'32"	20181009 ～1016	33	個人住宅建築
日戸I遺跡 (第2次)	岩手県盛岡市日戸字 一本杉50-1		KE78-1075	39°47'50"	141°12'34"	20180605 ～0607	141	個人住宅建築
里館遺跡 (第64次)	岩手県盛岡市北天昌 寺町245-1・6外		LE06-2027	39°42'43"	141°07'15"	20180402 ～0622	920	保育園建設
西鹿渡遺跡 (第35次)	岩手県盛岡市三本柳2 地割28-1		LE27-1046	39°39'52"	141°09'47"	20180409 ～0717	3,032	宅地造成
稲荷町遺跡 (第34次)	岩手県盛岡市稲荷町 3-1・4外		LE06-2010	39°42'40"	141°06'35"	20180523 ～0525	520	高齢者向け賃貸住宅建設
赤裳遺跡 (第8次)	岩手県盛岡市西青山 一丁目23-1		LE05-0397	39°43'20"	141°06'26"	20180611 ～0620	188	私道改良工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
盛岡城跡 (第37・38次)	城館跡	近世	三ノ丸石垣天端石・土塀控柱列跡 台所門枳形南東部石垣・土橋・土塁		瓦、陶磁器 コンテナ40箱		三ノ丸石垣の土塀の控柱と 推測される柱列跡を検出	
下永林遺跡 (第5次)	散布地	縄文 古代	陥し穴状土坑3基 円形周溝2基、土壇墓2基		土師器・あかやき土器 コンテナ5箱			
細谷地遺跡 (第38次)	集落跡	縄文 古代	陥し穴状土坑2基 竪穴建物跡1棟、溝跡7条		土師器、近現代ガラス瓶 コンテナ6箱			
向中野幅遺跡 (第4次)	集落跡	縄文 古代以降	陥し穴状土坑3基 土坑3基、溝跡21条		土師器・須恵器・あかやき 土器			
大新町遺跡 (第84次)	集落跡	縄文	竪穴建物跡7棟、土坑12基		縄文土器・石器・石製品、 コハク コンテナ10箱		縄文時代の線刻礫が出土	
里館遺跡 (第65次)	城館跡	中世	堀跡1条		縄文土器、土師器			
繫V遺跡 (第38次)	集落跡	縄文	竪穴建物跡5棟、土坑3基、遺物包 含層		縄文土器・石器 コンテナ10箱			
安倍館遺跡 (第92次)	城館跡	中世	堀跡1条					
日戸I遺跡 (第2次)	集落跡	縄文	竪穴建物跡3棟、石囲炉状遺構1基		縄文土器・石器・土偶 コンテナ1箱			
里館遺跡 (第64次)	城館跡	中世	竪穴建物跡6棟、堀跡1条、掘立柱 建物跡22棟		陶磁器、鉄製品、古銭		城館主要部の堀跡・建物跡 等を確認	
西鹿渡遺跡 (第35次)	集落跡	奈良	竪穴建物跡5棟、竪穴状遺構1基		土師器・須恵器、土製紡錘 車 コンテナ8箱			
稲荷町遺跡 (第34次)	集落跡	平安	土坑7基、堀跡1条、溝跡6条		土師器、古墳～奈良時代の 水晶製切子玉		平安時代後期の遺構を確認	
赤裳遺跡 (第8次)	散布地	平安	竪穴建物跡1棟、土坑1基、溝跡1 条		平安後期の土師器		平安時代後期の竪穴建物跡 を検出	

盛岡市遺跡の学び館 平成 30 年度 館報

令和 2 年 3 月 25 日 発行

発行 盛岡市遺跡の学び館
〒 020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13-1
電話 019-635-6600 FAX 019-635-6605
e-mail iseki@city.morioka.iwate.jp
URL [http://www.city.morioka.iwate.jp/moriokagaido/
rekishi/manabikan/index.html](http://www.city.morioka.iwate.jp/moriokagaido/rekishi/manabikan/index.html)

印刷 株式会社 阿部印刷
〒 020-0873 岩手県盛岡市松尾町 2-2
電話 019-624-2242 FAX 019-624-0177



盛岡市 遺跡の学び館